

# ながいき農業だより

発行 長生農業事務所 茂原市茂原1102-1・長生農業改良普及事業協議会  
 編集 長生農業事務所改良普及課 TEL 0475(22)1771 FAX 0475(25)2061  
 URL <https://www.pref.chiba.lg.jp/ap-chousei/>

元気な長生農業人 その四十六

農地を集約して、

持続可能な水稲経営を！

一宮町 室川農園 代表 室川 典弘さん

今回は一宮町で水稲、トマト、なすの栽培をしている室川典弘さんを紹介します。特に水稲では栽培面積約七〇ha、作業受託を含めた収穫面積約一〇〇haと長生郡市でも最大級の規模を誇っています。



室川さん

## 〈現在の取組〉

気候変動や米の需要量の低下、米価の低迷など水稲栽培において厳しい環境下の中、室川農園では新たなチャレンジをしています。  
 ・ミネラル肥料を活用した良食味米の栽培

厳しい気象条件の中でも良食味の米を生産するため、ミネラル肥料を活用した米作りに挑戦しています。良食味米は、地元直売所な

どを中心に販売しています。地元のおいしいお米を地元の方に一番食べてもらいたいと話していました。

## ・新品種への取組

米消費拡大の取組として、今年から米粉用専用品種である「笑みたわわ」の栽培に挑戦しました。栽培には成功し、製粉された米粉を地元の飲食店等に配布し、商品開発に取り組み、地元での波及効果を狙っています。また、飼料用



「笑みたわわ」で作ったマフィン

米においても飼料用米専用品種である「アキヒカリ」や「ふくびびき」を栽培し、多収栽培への挑戦をしています。

## 〈今後の展望〉

近隣の生産者が減少し、栽培面積が年々拡大していく中で、持続可能な経営を行うには、農地の集約が最も大切だという室川さん。自身が中心となって、一宮町の大規模水稲生産者が集まる一宮町稲作研究会を立ち上げ、効率化のため生産者同士での農地の交換も進めています。また、単に農地を集約するだけでなく、農地耕作条件改善事業を活用して農地を改良することで、作業の効率化を図り、将来的には水田で畑作物の栽培も挑戦したいとのことでした。

農地の集約を進めるためには、現在各市町村で作成している地域計画を軸とした行政との連携も重要と話していました。そしてなにより大切なのは各生産者が本気で将来を考え、農地の集約に取り組むことだとのことでした。長生郡市は市町村を跨いで耕作をしている生産者も多いため、郡市全体で農地の集約に向けた議論が活発化してほしいとのことでした。

室川さんのその熱意は将来への希望になると感じました。

(改良普及課)

# タマネギと病対策 〜二次感染期の徹底防除〜

昨年のタマネギ出荷量減少の原因となったタマネギべと病。今年こそは被害を抑えられるように防除していきましょう。そこで、べと病の二次感染期となり重点防除期間である春以降の五つの防除ポイントを紹介していきます。

**① 一次感染株の抜き取りの徹底**  
一次感染株は春の感染源となるので時期に関係なく見つけたら抜き取りましょう。



一次感染株  
葉が湾曲し、色あせて  
草丈が低くなる。

## ② 展着剤を必ず加える

農薬を作物に均一に付着させて撒きムラを無くす為に展着剤を添加します。特に濡れ広がる性質が高いドライバー、ミックスパワー、まくぴか等が有効です。なお、展着剤は混和する順番など使い方が異なる場合もあるのでしっかりとラベルを確認して使用しましょう。

## ③ 農薬はたっぷりと丁寧に散布し 撒きムラを減らす

一〇a当たり一〇〇ℓ以上を基準にたっぷり散布します。また、動噴ノズル・噴口に詰まりがないか等を確認し、場合によって噴口交換も検討しましょう。

## ④ 三月上旬から七〜一〇日の間隔 で定期的な農薬散布

三月上旬にべと病感染の危険性が高まります。感染後の防除では防除効果が低いため三月上旬からの定期的な農薬散布を心がけます。また、予防効果が高い農薬で感染を防ぐとともに、治療効果がある農薬を散布ローテーションに加えることでほ場全体の菌密度を下げていくことも重要です。



## ⑤ 収穫終了後、感染株はほ場の外 に持ち出して処分

一〇a分の残さに対し石灰窒素一〇kgを混ぜてビニールシートを被せ、残さを完全に腐らせて菌を持ち越さないようにしましょう。

(改良普及課)

# ニホンナシの冬〜春の管理

## (一) 側枝の更新

毎年、安定して収量を確保するため、側枝を定期的に更新しましょう。側枝の更新の目安は、「幸水」は二〜三年、「豊水」は三〜四年、「新高」は四〜六年です。

また、良質な側枝を得るためには、予備枝の確保が不可欠です。

「幸水」の場合、予備枝の太さは一〇ミリ前後、長さは四〇センチ程度とし、上芽（水平に誘引した時上にくる芽）の葉芽で切り返します。

予備枝の割合は側枝の四〇〜五〇%が目安となります。

良い予備枝を確保するため、①更新前の側枝に芽傷処理・クサビ処理、②五月上旬の予備枝の一本化、③夏場（六月下旬）の新梢誘引等を行いましょ。



更新予定側枝の基部へのくさび処理

## (二) 花芽整理

花芽整理とは、『実をつけない場所の花芽が動く前に、不要な花芽を減らす』作業です。

短果枝を中心に、目標着果数の一・五〜二倍の花芽を残すことを目安に行います。

## ○花芽整理の目的

花芽をあらかじめ減らすことで、その後の摘蕾・受粉・摘果作業が楽になります。また、交配に使用する花粉の量を減らすことができます。

## ○実際のやり方

①摘除・・・短果枝を中心に、花芽を手でかきとります。



## ②切除・・・ハサミで短果枝ごと切り取ります。

一ヶ所に三果台以上ある場合（しょうが芽）は、ハサミで切除し、花芽を一つに摘除します。脇から出た小さな花芽も摘除します。



(企画振興課)

# 収入保険に 加入しましょう

収入保険とは、自然災害による収量減少や価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補償するものです。

## ○加入できる方

青色申告を行っている農業者  
(個人・法人)

※収入保険と、農業共済(水稲共済、果樹共済など)、ナラシ対策、野菜価格安定制度などの類似制度は、どちらかを選択して加入します。

※当分の間の特例として、野菜価格安定制度の利用者が初めて収入保険に加入する場合、最初の二年間に限り収入保険と野菜価格安定制度を同時利用することができま

## ○対象収入

農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体

## ○補填の仕組み

保険期間の収入が基準収入の九割(五年以上の青色申告実績がある場合の補償限度額の上限)を下

回った場合に、下回った額の九割を上限に補填します。

※補償割合九割を選択した場合。

## ○保険料・積立金・付加保険料

加入する場合は、保険料・積立金(積立方式も選択した場合)・付加保険料(事務費)を支払います。

保険料は掛捨てになります。積立金は補てんに使われない場合、翌年に持ち越されます。

## ○県による補助(期間限定)

収入保険に新規加入する千葉県民の方は、二万円を上限に初年度保険料の補助を受けられます。

## 補助対象

以下の要件を満たす方

- ①令和四年度から六年度に新規加入する方
- ②保険方式と積立方式をセットで加入する方

## 助成額

初年度保険料が  
六万円以上の場合二万円  
三万円以上六万円未満の場合一  
万円

収入保険の詳細については  
千葉県農業共済組合わかしお支所  
電話〇四七五・二六・二七〇一まで  
お問い合わせください。

(企画振興課)

# 台風による 稲わらの堆積と その影響と 対策について

令和五年九月には台風第一三号の接近に伴う大雨により冠水し、他水田から切断された稲わらが流れ込んだ水田が多く発生しました。



冠水した水田(茂原市早野)

## ●稲わらの堆積による影響

- ①チツソ飢餓による、活着不良

稲わらが大量に堆積した場所では分解が遅れます。春まで未熟のままだと土壌微生物による分解によってチツソ等の養分が競合し、活着や初期生育に影響を受けます。

②ガスの発生、根痛みによる生育  
阻害

微生物の働きにより土壌還元状態となります。そのためガスが発生して根にダメージを与え生育が阻害されます。

## ③機械による作業性の低下

ロータリー耕の際に稲わら残渣が絡まりやすく作業性が低下します。

## ④病害虫の発生

病害や害虫の温床となりやすく、いもち病や紋枯病の発生につながります。

## ●春までに行う対策

①稲わらの除去・ほ場への分散  
稲わら堆積の悪影響を抑えるためには、稲わら残渣を取り除くか、ほ場全体にまき散らし、分解しやすくすることが大切です。

## ●栽培期間中の対策

①移植後ガスが発生する場合  
移植後、ガスが多く発生する場合は一度落水して土中に酸素を供給します。

## ②生育後、気泡が発生する場合

晴天時に、ほ場全体に気泡が自然発生するほどひどい場合は、溝切り等を実施します。

## ③病気の発生が助長

いもち病や紋枯れ病の発生が助長されるので、注意深くほ場を見て、適切な防除を心がけてください。

(改良普及課)

# 長生地区指導農業士会の活動について

長生地区指導農業士会では、交流や情報交換などを通じてそれぞれの経営や資質向上を図るとともに、地域農業の振興や後進の育成などを目的に様々な活動を行っています。主な活動について御紹介します。

## 【学校教育連携事業】

食育や農業への理解を深めるため、毎年管内の小学校で栽培指導などを行っています。今年は五月に一宮町の東浪見小学校でサツマイモ苗の植え付け指導を行いました。十月には掘り上げて試食会の予定です。



熱心に話を聞く小学生たち



おいしい料理に話も弾みます

## 【家族交流会】

会員・家族に加え、管内の農業関係団体などにも呼びかけて、七月に交流会を開催しました。コロナ禍の影響で中止が続いていましたが、四年ぶりに開催したバーベキュー大会は、二十七名が参加して家族とともに楽しいひとときを過ごし、互いの親交を深めることができました。

## 【その他の活動】

地域を担う後進の育成のため、新規就農者への支援を行っています。農業事務所主催の農業経営体育成セミナーや新規就農者の交流会などで指導・助言を行うほか、若い農業者の日頃の良き相談相手にもなっています。

(改良普及課)

## 次の長生地域の農業を担う 農業経営体育成セミナー 来年度受講生を募集しています!

農業経営体育成セミナーでは、長生地域の新規就農者を対象に、技術や経営に関する研修を行っています。

研修は三か年のカリキュラムで、一年生は、基礎的な知識・技術の習得と仲間づくりを目標に研修を行います。二年生は、さらに自分の経営上の課題を見つけ、解決に導く「プロジェクト活動」に取り組めます。三年生は、自分の経営把握・分析を行い、将来の営農計画を作成し、修了となります。

セミナーでは、座学による研修だけでなく、地域内の先進的な生産者視察やセミナー生同士の相互訪問といった屋外の研修も行っています。また、仲間づくりの一環として地域の生産者との交流会や、地域外のセミナー生との交流会など、生産者同士のコミュニティへ積極的な参加を推進しています。

農業事務所改良普及課では来年度参加される方の募集を行っています。セミナーで農業者同士の交流を深めたい方はお気軽にご相談ください。  
(改良普及課)

アグリライフ長生の活動

## 女性の方で 農業を元気に!



「ちば農業女子マルシェ2022」にて

アグリライフ長生は長生地域の女性農業者のグループです。会員の経営品目は様々ですが、各々の農業経営のスキルアップに向け、会員同士でテーマを考え、視察研修や農産加工実習などを行っています。

また、千葉県全域の組織である「ちば県女性農業者ネットワーク」と連携した活動にも取り組んでいます。一昨年度からは「ちば農業女子マルシェ」に参加し、千葉県農産物のPRや他地域の女性農業者との交流を図りました。

アグリライフ長生では一緒に活動する方を随時募集しています。興味のある方は事務局（長生農業事務所改良普及課）までお問い合わせください。  
(改良普及課)